

KSS

障害者支援施設 和生園 第2和生園・グループホームもみの木・かしの木



か け る

創刊号

(題字：笹江 卓司)

わたしのいましめは、これである「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」ヨハネによる福音書 第15章12節

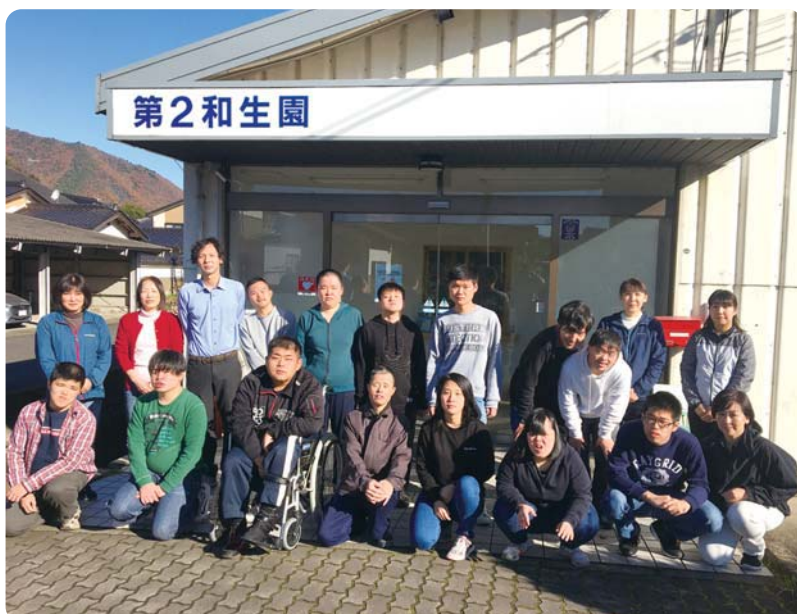
年号も令和となり、はや8ヶ月を過ぎようとしています。この4月に平生園より転勤してまいりますが、まだ分からないことばかりですが、どうぞよろしくお願いします。

ごあいさつ

和生園施設長
松本雄二



さて、(第2)和生園とグループホームもみの木・かしの木では新たに広報紙を発行させていただくこととなり、紙名はひらがなで「かける」と命名いたしました。敢えてひらがなにしましたのは、お読みいただく方いろいろな漢字名を想像いただくためです。思いつくだけでも、「翔ける」「駆ける」「描ける」「懸ける」等様々な「かける」があります。この後、第1号の「かける」をお読みいただいて、どの漢字がふさわしいと感じられるでしょうか？



ご存知のように、和生園は就労を支援する事業所です。自分が働くことによって社会に貢献するため、工賃を少しでも多く稼ぐため、一般企業への就職に向けて訓練をするため等、ご利用者様によってさまざまな目的で通所されています。そして、すべてのご利用者様は心の中に自分だけの「かける」を持って作業や訓練に取り組みれています。今後ともより一層のご支援を賜り、温かく見守って下さいますようお願い申し上げます。

各事業の活動紹介

和生園

ランドセルのパーツ加工



1本ずつ汚れ、しわ、ごみなどの付着がないか検品をします。

縫い上がった肩ベルトに穴開け、鉚打ちをします。



力があるので疲れます…
毎日出荷があるので仕上げ
るのが大変です。



検品をする時に良、不良
の判断が難しいです。



和生園では「就労継続支援B型事業」として、ミシン縫製を取り入れた下請け作業にとりこんでいます。ランドセルのパーツ加工、フロートカバー生産、防草シートのサンプル作りなど細かい作業が多いですが、身体障害・知的障害・発達障害などさまざまな障害を抱えられていても、それぞれに出来る作業を担い、黙々と取り組む姿が見られます。

作業を募集しています。ご利用者ができる作業はありませんか？
内職作業・ミシン縫製を含めた生産作業が得意です。その他ご要望に応じて出来る作業があれば検討いたします。

和生園の1日の予定

- 9:00 登園
- 9:10 利用者朝礼
- 9:15 作業開始
- 10:30 15分休憩
- 10:45 作業再開
- 12:15 昼休憩
- 13:15 作業再開
トイレ、食堂掃除
- 14:45 15分休憩
- 15:00 作業再開
- 16:25 作業場掃除
- 16:30 作業終了

ランドセルのパーツ加工作業は各工程に分かれ一本一本丁寧に仕上げられています。作業内容は生地糊付けから始まりミシン縫製、樹脂パーツ組み立てまでを和生園で行っています。細かい作業が多くとても大変ですが、ランドセルを手にする子供達が喜んで使ってくださることを願いながら日々作業に取り組んでいます。



写真は和生園の別棟「ノア」の建物です。来年2月頃からこの場所で朝来市指定のゴミ袋を生産することになりました。現在、製袋機の移設に向けて改修工事を行っている最中です。

初めての作業なので色々不安な事もありますが、より良い製品を作れるようにご利用者、職員が丸となって頑張ります。



仕事をするのが生きがいです。

②紐を通す部分、フタを縫い付けたら紐を通し、次に両端を合わせて縫います。

①型に合わせて線を引き、切り出します。

ずれないように書くのが難しい…



底の縫い付けは難しいけど少しでも早く縫えるように頑張ってます！！

できましたー！！



④底が縫えたら裏返して綺麗にしわを伸ばします。



③横を縫ったら次に底を縫いつけます。

力仕事は大変やわぁ



⑤梱包をして出荷します。

接遇アップキャンペーンを実施

12月9日～12月20日、神戸聖隷福祉事業団として、接遇キャンペーンが実施されました。和生園でも「笑顔を中心がけましょう。」「しぐさに気を配りましょう。」「をテーマとして、職員の皆さんに声掛けを行いました。今後もご利用者の皆さんが安心できる環境づくりを目指して、日々の中で取り組んでいきたいと思えます。

防草シート サンプル帳作成



※フロートカバー・・・水産業など海で使用される浮きを保護するカバー
 ※防草シート・・・雑草が生えるのを抑えるシート

第2 和生園

就労継続支援B型事業(定員10名)



点字作業は視覚障害者の方のための大切な作業。封筒に点字を刻印します。



ベーカリー作業はみんな大好き。生地を丁寧にこねてっと…美味しいビスコッティの完成!

余暇活動では体を動かしたり、たこ焼きを作ってみんなで食べたりと楽しみいっぱいな時間を過ごします。



就労移行支援事業(定員6名)

第2和生園では、ご利用者の個々の状況に応じて、軽作業や余暇活動の支援を行っている「就労継続支援B型事業」、一般就労を目指して作業訓練・ビジネススマナー・生活訓練のプログラムを利用される「就労移行支援事業」、一般就職された方が安心して企業に定着していただけるための相談等の支援を行う「就労定着支援事業」を行っています。



就労移行では就職を目指して、ビジネススマナー等を学習したり、城崎温泉でインターンシップに参加して、旅館等の業務を体験し、また施設外での清掃活動、調理実習などを通して、自立した生活が出来るよう多彩なプログラムを用意し、実践しています。

就労定着支援事業

昨年10月より開始した新規事業です。

就労継続、就労移行、自立訓練、生活介護を利用され、その後就職された方が、気持ちよく働け、その企業に末永く勤めていただけるように支援する事業です。

現在2名の方にご利用いただき、毎日元気に働いております。



日中活動としてはガス器具部品やポリエチレン製品関係の作業を提供し、毎月工賃も配分させていただきます。

施設外実習(あったかプラザ接客業務)

同じ法人内の障害者支援施設「恵生園」が朝来市より委託を受けている「あったかプラザ」では、施設外実習を希望されるご利用者を対象に接客業務を体験して頂いています。

みなさん明るい笑顔で接客されています。



(5)



インフルエンザやノロウイルスの流行の季節です (*_*;
もしもの時に備えて…世話人さん全員で、感染症予防対策の勉強会をしましたので、皆さんに少しでも **役立つ情報をお一つ** 紹介します (^o^)/

ノロウイルス食中毒防止4ヵ条

- その1～手洗いはしっかりと…2度洗いが効果的 ↑↑↑
- その2～食べ物はしっかりと加熱を…中心温度85～90℃で90秒以上
- その3～まな板、包丁などの調理器具は、熱湯か消毒剤で消毒を…塩素系の消毒剤が、効果的 ↑↑↑
- その4～体調が悪い ((+_+)) と感じたら…調理は控える



グループホーム 「もみの木」 「かしの木」

利用者さん…一問一答のコーナー!!

1. ホームでの生活はいかがですか？



「まあ、よろしいです!!」

「Ahaaa…まあまあやな!」



2. 今、して欲しいと感じていることはありますか？



「Hhhh…風呂場の寒い季節やなああ」

グループホーム「もみの木」「かしの木」では和山町秋葉台地区の皆様からは、地域の一人として気にかけて頂き、また時にはお叱りを頂戴しつつ、15名のご利用者の皆さんが、世話人さんの支援を受けながら生活を送っています。今後も、宜しく願います。

事業所概要

グループホームもみの木・かしの木		第2和生園		和生園	
○サービスタイプ	共同生活援助(一般型)	○サービスタイプ	就労継続支援B型	○サービスタイプ	就労継続支援B型
○利用定員	17名	○利用定員	10名	○利用定員	24名
○設立年月日	平成24年4月1日	○設立年月日	平成26年9月1日	○設立年月日	昭和57年4月1日
かしの木Ⅱ	平成25年4月1日	就労移行支援	8名	就労移行支援	6名
		就労定着支援	6名	就労定着支援	10名
		就労移行支援	6名	就労移行支援	6名
		就労定着支援	8名	就労定着支援	8名
		就労継続B型	8名	就労継続B型	8名
		就労移行支援	6名	就労移行支援	6名
		就労定着支援	6名	就労定着支援	6名
		就労移行支援	6名	就労移行支援	6名
		就労定着支援	6名	就労定着支援	6名
		就労継続B型	8名	就労継続B型	8名
		就労移行支援	6名	就労移行支援	6名
		就労定着支援	6名	就労定着支援	6名
		就労移行支援	6名	就労移行支援	6名
		就労定着支援	6名	就労定着支援	6名
		就労継続B型	8名	就労継続B型	8名
		就労移行支援	6名	就労移行支援	6名
		就労定着支援	6名	就労定着支援	6名



第2和生園

※ご注文承ります

カリッとした食感のイタリアのビスケット風お菓子です。食べやすいように少しソフトに仕上げました。コーヒーや紅茶に浸してやわらかくしてもおいしく食べられます!

ビスコッティ 200円



ゆぼチップス 200円

朝来市産岩津ねぎパウダーを使用。パリパリのゆぼとねぎ塩味がお酒ともよく合います



ライスサフレ 200円

コウトリ育む米の米粉と竹野浜の海水から作られた「誕生の塩」を使用しています。抹茶味には京都宇治の抹茶を使用しています。



和生園年間行事

- 4月 全体会議
- 8月 自治会主催の食卓会
- 8月 全体会議
- 12月 クリスマス祝会
- 12月 全体会議
- 3月 一泊旅行

全体会議

年3回の全体会議では作業に関する連絡事項、作業の振り返りや、作業実績等をご利用者の皆さんと職員で共有しています。作業を振り返ることで仕事に対するモチベーションを上げ、和生園全体が同じ目標に向かって頑張ろうと気持ちを新たにしている会議です。

食卓会

自治会主催の食卓会は自治会役員さんを中心にご利用者の皆さんが主体となって予算や会場決めをされます。職員が全て手配してしまつたのではなくご利用者が中心となることで、より一層充実した楽しい食卓会が行われています。

クリスマス礼拝・祝会

礼拝では落ち着いた雰囲気の中、

聖書を読み、讃美歌を歌い、静かなひと時を過ごします。礼拝後は一転、自分達で考えて準備をしてきた出し物の発表や、ゲーム等の余興を楽しみ、最後にはビンゴ大会をして祝会を締めくくります。

旅行

毎年3月に一泊旅行に出かけています。この旅行は年に一度のビッグイベントでご利用者の皆さんが一番楽しみにされている行事となっています。これまでに淡路島・滋賀・神戸・大阪・岡山等たくさんの観光地を訪れ、楽しい時間を過ごしています。温泉や美味しい食事を楽しみ、宴会ではカラオケで大盛り上がり。お酒も進み、普段の作業では見られない一面を見ることが出来ます。



夏のイベント(食卓会)

8月13日に和生園自治会内にあります、幸徳殿で食卓会を行いました。この食卓会は和生園と第2和生園のご利用者全体の食卓会で、自治会が主催するイベントです。

和生園と第2和生園の自治会役員が集まり食事の予算をみながら、皆さんが楽しくお食事できる場所を決定しました。予算があまりないとのことでしたが、それでも、楽しいひと時を過ごし、親睦を深めたいとの思いで、意見交換を行いました。最終的には、昨年と同じ場所ではありますが、幸徳殿が落ち着いてお食事ができるのとこのことで話が纏まりました。

この食卓会の開催は、和生園で伝統のある行事です。当初は、「夏の暑い時期にお肉を食べて元気に過ごそう。スタミナをつけよう。」と、長年和生園の駐車場ではバーベキューが行われてきました。しかし、夏のとても暑い昼食会のため、「おいしいものを食べに行こう。」にシフトチェンジされ、今のスタイルになったと、和生園ベテランご利用者の方が昔を振り返りお話しして下さいました。

普段の作業は黙々と取り組まれるご利用者の皆さんですが、この食卓会では、食事自体がおいしかったこともあり自然と顔の表情が緩みます。笑顔も見られ、大きな笑い声もあちらこちらから飛び交って楽しい食卓会となったのではないのでしょうか。ご利用者同士の親睦が深められ、職員も普段作業場では仕事の話ばかりですが、この食卓会でご利用者との間で楽しい交流が行えたことが良かったと思っています。



和生会紹介

自治会では、自分たちで自治会の集金を行い、運営をしています。

お祝い事や、お見舞い等も自治会が用意します。また、自治会主催で毎年お盆には食事をしています。毎月自治会では、自分たちで先月の反省を行い、翌月の目標を決めて利用者全員に伝達し、目標に向かって頑張っています。

今回、自治会役員にインタビューした内容を紹介させて頂きます。

会長 馬場さん



私は、人の前ではっきりと発言が出来ると思い、会長に立候補し

ました。和生園の利用者の皆さんにはありのままの気持ちを出して話し合えるように、話しやすい雰囲気や環境作りが出来るように頑張りたいと思っています。また、自分のことばかりではなく、みんなの意見も聞けるように自分も成長したいと思っています。

副会長 田中さん



役に立ちたいので先頭に立って頑張りたいと思い立候補しました。みんなで助け合い協力できるように手助けが出来ればと思います。役員のお仕事では、毎月会費を集金しますが、しっかりと全員分集金できるようにがんばっています。皆さんにお話しすることの難しさを感じています。

会計 吉田さん



最近までは、同じ人が長期にわたって自治会の仕事をされていたので、役員をしていなかった私ですが、自治会の役員になって役に立ちたいと思い立候補をしました。会計の仕事では、お金を集めることやイベント事でお金を使う際の難しさを感じています。今年度は特に、そう感じます。自治会の予算が年々少なくなってきたので、自治会費の値上げが必要かを考える時期に差し掛かっていると感じます。今年度中に話し合いみんなが納得できるようにしたいと思います。みんなで助け合う仲間なのが和生園利用者であり、自治会なのだと思っています。みんなで助け合う自治会にしたいです。

工賃配分の前の日の朝礼で「自治会費を持って来て下さい」と言うのが僕たちの仕事です。みんな持って来てくれるのでお金を集められます。

夏のイベントではいろいろな所に食事に行けて、美味しいご飯が食べられて嬉しいです。和生園と第2和生園の利用者はなかなか会えないので、食事会の時に仲間と出会って話したりして楽しいです。

副会長 足立さん



会計 織田さん



職員紹介

和生園、第2和生園、グループホームもみの木・かしの木で、ご利用者の支援をさせていただいている職員を紹介します。

施設長 松本雄二
支援課長(グループホーム管理者) 山根由夫
支援課副主任

(就労支援員・定着支援員)
サービス管理責任者 片山慶彦
濱優介
職業指導員

松元奈津美、奥みゆき
杉谷信子、越智郁恵
多田直哉
生活支援員

大槻真希、藤原めぐむ
竹中麻由子
目標工賃達成指導員
三浦みち子、西谷喜代美
松上頼子、尾川弘美

ご寄附・ご寄贈していただいた方

(2019年4月〜12月)

小出 彩恵子 様
吉田 尚子 様
おかだ友愛福祉会 様

グループホーム世話人

和田真沙子、生田 澄子
杉田すみえ、中川八重野
大西みち子、岡田久美子
衣川 京子、松島 順子
事務職員
森本 一、木村 智子



神戸聖隷福祉事業団
ホームページ <http://www.kobeseirei.or.jp>
フェイスブック <https://www.facebook.com/Kobe.seirei>

ご奉仕していただいた方

ボランティアグループ

あじさいの会 様
東谷昭和会 様
和田山ライオンズクラブ 様

エアコンを寄贈していただき!

2019年11月に和生園開設当初からお世話になっていきます「おかだ友愛福祉会」様より、今まで空調設備がなかった一部の作業場にエアコンを寄贈いただきました。本当にありがとうございました。



おかだ友愛福祉会
会長 岡田和隆様



編集後記

和生園は開設して今年で37年になりました。

秋葉台地区のみなさんをはじめ、竹田地区のみなさん、ご利用者の皆様、ご家族様のご理解ご協力のお陰で、第2和生園やグループホームの開設等事業の拡大をさせていただき、障害をお持ちの方々に、さまざまなサービス提供できる施設へと成長させていただきましたこと、重ね重ね感謝いたします。

和生園の広報紙は以前、恵生園の「しあわせ」に寄稿する形で発行していましたが、今年度新たに和生園広報誌として「かける」を創刊させていただきました。

今後ともよろしくお願いいたします。



ボランティアグループ「あじさいの会」の皆さん、月に一度ご利用者の皆さんに昼食の調理をして頂いています。

発行 2019年12月25日(創刊号)
発行所 社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団
指定障害者支援施設 和生園
〒669-5221 兵庫県朝来市和田山町秋葉台1-72
TEL (079) 672-5639
発行責任者 松本雄二
印刷 藤原印刷所